



## イエスさまにあったこねこたち

おはなしとイラストレーション： 山本 真美子

これはイエスさまにあった、こねこたちのはなしです。ある日ミミは、「かわいいメスのこねこをもらってください。せいご、三か月です。だいにそだててくれるかたに、ゆずります。」というこくをみつけました。そしてミミは、そのこねこをもらい、なまえをアガペとつけました。アガペというみは、天と地、そしてすべての生きものをつくられた「ぜんのうのかみさまのあい」というみです。

アガペは、とてもやんちゃなこねこでもだちのアレックスとあそぶのがだいすきでした。

アレックスは、おとなしいこねこですがアガペとなかよしになりました。

こうしてミミと二ひきは、とてもよい友だちになりました。



かみをみたものは、まだひとりもいません。もしわたしたちがたがいに愛しあうなら、かみはわたしたちのうちにすみ、またかみのかんぜんな愛がわたしたちのうちにあります。

1ヨハネのてがみ 14:12

あるあさ二ひきのこねこは、かみをきれいにととのえました。

「さてなにをしてあそぼうかな」アガペはかんがえました。へやのなかにミミのたいせつにしている花びんがめにとりました。

「あの上をジャンプしてみよう」

おおきいきをすってジャンプ！

コーヒーテーブルの上をとびこえて花びんの上をとびこえるはずだったのに、アガペは、花びんのうえにちゃくりくしてしまったのです。ガチャーン。

「あら！花びんが、こわれちゃった！どうしよう。」

そばでみていたアLESSが「しょうじきにミミにはなしたほうがいいよ」とアドバイスしました。



もしわたしたちが自分のつみをいいあらわすのなら、かみさまはしんじつで正しいかたですから、わたしたちのつみをゆるしてくださり、すべてのつみから清めてくださいます。

1ヨハネのてがみ 1：9

わかひとたちは、どのようにして自分を清くたもつことができるのでしょうか？  
かみさまのことばをよく聞きまもることです。

詩へん 119：9

ミミは、だいどころにいて、なにかがわれる音をききました。

「どうしたの？」ミミがきてききました。アガベはほんとうのことが言えなくて、

「アレックスとあそんでいたら、花びんがたおれちゃったの」とうそをついてしまいました。

「あら、こわしたのは、アガベじゃないの？おとをきいたときアレックスは花びんのちかくに  
いなかったわよ」ミミがそういったとたんアガベは、はらがたちました。

「そうよ、わたしがこわしたの。アレックスは、いつもいいこだからいたずらは、いつも

わたしなのよ！うるさくいわないでね、ばいばーい、そとであそんでこようっと」

アガベは、ぷりぷりしながら外にとびだしました。



もしまちがって、つみをおかす人があるなら、父であられるかみさまのもとにはわたしたちの  
たすけ主、イエスさまがおられます。

1ヨハネ 2：1

「わあーい、花がきれいだなー。アガペはいえねこなので、外にでたことがなかったのでおおはしゃぎです。ばらの花、すみれの花、ゆりなど いろいろな花が、ピンク、きいろ、あかや、オレンジいろにさきみだれています。

「ふうん、外であそぶのっておもしろい。いたずらしてミミにしかられることもないし、うるさいきそくもないし、じゆうっていいな。じぶんのすきなことたくさんできるもの」あそびつかれて、草の上でねむってしまいました。



主なるかみは、愛するすべてのものを自分のこどもとして、くんれんされるのです。  
へブル人へのてがみ 12:6



かみさまがつくられたすべてのものは、すべてよかった。 そうせい記 1:31a

アガベがあそんでいるうちに、一日があつというまにすぎました。  
きのうからでたきりアガベがかえってこないで、ミミとアレックスは、  
しんばいしていました。

「どうしたんだろう、アガベがいえにかえってこないなんて。おなかもすいているはずなのに」  
——そこでミミとアレックスはかみさまに、アガベが早く、そしてぶじにもどってくるように  
おいのりしました。

「イエスさま、アガベをぶじに、いえにつれてきてください。  
きっとまいごになってしまったのです。おねがいします。イエスさまのおなまえによって  
おいのりします。アーメン」

## 主のいのり

天のお父さま

あなたの清いお名まえがあがめられますように  
あなたのみ国がすぐきますように  
あなたのみ心が、天でおこなわれるようにこの地上でもおこなわれますように  
今日、わたしたちにひつような食物があたえられますように  
わたしたちのおかしたつみをゆるしてください  
わたしたちもわたしたちにつみをおかしたものをゆるします  
どうぞわたしたちをゆうわくにあわせないでください  
アーメン



もしあなたがたのうち二人が、どんなねがいごとでも地上で心をあわせているなら、天にいます父はそれをかなえてくれるでしょう。

マタイ 18 : 19

アガペは、木のこかげにねました。あさになってつゆで、かみがぬれました。

おなかもペコペコです。

「そうだ、きのういえをとびだしたときからなんにもたべていないんだ」

みちをよこぎって、大きなとおりにでました。

そこは、ジャカランダのはながうつくしくさきみだれていました。

それは、まるでむらさきいろのさくらの花のようです。

「ワーイ、きれいだなあ！ むらさきいろのシンフォニーだ！ ミミたちにも見せてあげたいなあ。」アガペがそうおもったしゅんかん、うしろのほうから大きな声がきこえました。

「ブブーッ、ほら、ほら、どいた、どいた、ちびねこちゃん、けがをしたってしらないよ！」

おおきなトラックが、スピードをだして通りすぎました。



あなたのなやむときにわたしの名をよびなさい。わたしはあなたをたすけるでしょう。そしてあなたはわたしをかみとするでしょう。

詩へん 50 : 15



「たすけて！」アガペは、びっくりしてそばの木の上によじのぼりました。  
アガペのむねは、どきどき。  
おなかもすいています。だんだん、つかれもでできました。



イエスはうえをみあげていわれました。「ザアカイよ、いそいでおりてきなさい。きょうあなたのいえにとまるから」

ルカ 19 : 5

アガペは、なんだかかなしくなってきました。

「うちにかえりたいよう、ミミー、アレックスー、どこにいるのー」

アガペはとうとう、なきだしてしまいました。

「さあ、なっていないでおりておいで」

やさしい声がきこえました。

「わたしが、うちにつれていってあげるから」

そのひとは木の下で、りょうてをのぼしてまっています。

アガペは、その手の中におもいきってとびおりました。

そのひとのかおは、ほしのようにかがやいています。

たくさんさきみだれている花よりも、いいにおいがします。

やさしい声は、お母さんのこもりうたのようです。

そのひとは、アガペに「アガペ、どうしてミミのうちからとびだしたの？」

とききました。



わたしのしたことをなにもかもいいあてた人がいます。さあ、見にきてください。もしかしたらこのかたが、キリストかもしれませぬ。

ヨハネ 4 : 29

「あら、どうしてわたしとミミのなまえをしっているの？」アガペはとてもふしぎでした。

「前にどこかで見ることがあるなあ？」アガペは、おもいだせません。

「どこであったのかなあ？」

「どうしてミミのところからにげだしたのかなあ？」

「あのね、ミミがわたしをおこったから。」

「どうしてミミがおこったのかなあ？」

アガペはじぶんをかばおうとしていっしょうけんめいです。

「わたしは、なにもわるいことはしていないのよ。ただ、あそんでいただけなのに」

「ミミはアガペをいつもゆるしてくれるのに。どうしてあやまらなかったの。いたずらなこねこちゃん。」そういいながらアガペを、やさしく見つめました。

「このひとはわたしのしたことを、みんな知っているのね！」

アガペはびっくりしてしまいました。

「あのね、ミミがかわいがってくれるのは知っているけれど、ときどき、言うことをききたくなくなってしまうの。わるいことしてるって、みとめたくないから。」

アガペはともしょうじきにこたえました。

そのひとはわらいながら、「こんなことをおぼえているかなあ。ミミがゆかのそうじをしたあとに、アガペとアレックスがおにごっこをしたときのこと」

「おぼえているよ」

「ミミがせっかききれいにしたのに、二ひきでぐちゃぐちゃにしたね。ミミはなきそうだった」

アガペは、ちょっとしゅんとしました。



わたしがつみをかくしていたときは、心のいたみがほねにとどくほど、一日じゅうくるしかったのです。

詩へん 32:3

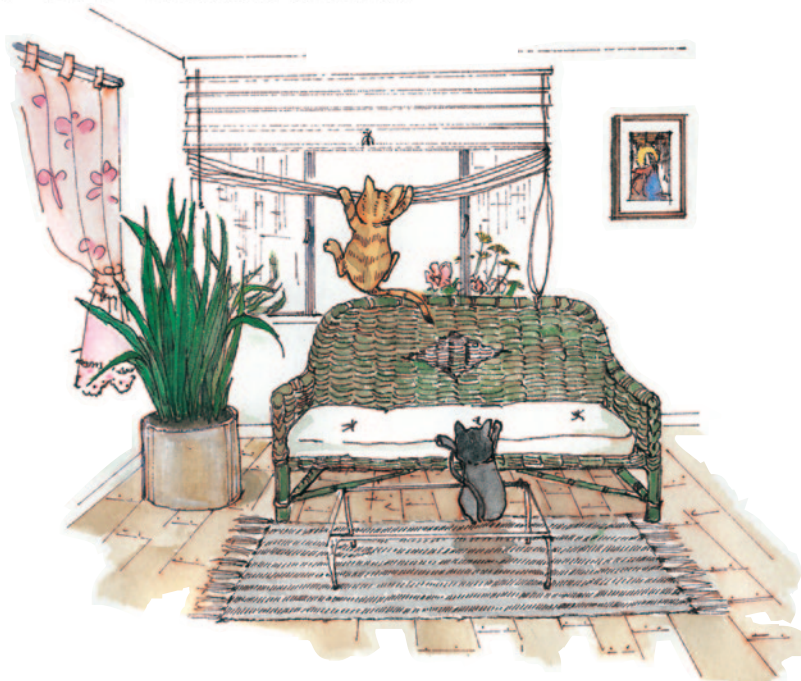
「それとね、ほら、いつだったかなあ。へやのなかに、虫がとんできてね、アガペはつかまえようといっしょうけんめいだったね。そして、ブラインドにジャンプした。

アガペは、ちゅうぶらりん、ブラインドはこわれちゃったし」

アガペは、とてもおかしくなってわらってしまいました。

「あっはっは！」

そのひとも、アガペはほんとうにいたずらっこだなあとおもったのか、わらいだしました。



わたしは、わたしの愛するものを自分のこどものようにしかったり、こらしめたりします。

ヨハネのもくじろく 3:19

「ミミがいろいろ言うのは、アガペとアレックスをあいしているからだよ。

とてもしんばいしてくれているからだよ」

「そうだったのかあ！」アガペは、うれしくなりました。

さて、そのひとは、ミミのうちにきました。

そしてドアをノックしました。

「はい、どなたですか？」ミミはドアをあけました。

そのひとをみたたん、ミミのかおはよろこびとおどろきにかわりました。

アガペは、こんなミミのかおをいままでみたことがありません。

「あなたは、イエスさまでしょうか？」

「わたしは、この世のなかでとっともしあわせなひとね。イエスさまに、お会いできるなんて！

そして、イエスさまが、アガペをつれてここにきてくださるなんて！」

そのひとは、しずかにうなずきました。



見なさい。わたしはドアの外にたって、たたいています。だれでもわたしの声を聞いてドアをあけるなら、わたしはその中にはいってともだちとして、いっしょにしょくじをするでしょう。

ヨハネのもくじろく 3 : 20

「このかたが、イエスさまなの！」

アガベはそのひとのかおを、見なおしました。

そうです！

いつもミミが、おいのりをとうしておはなしをしているかたです。

ミミがアガベとアレックスにはなしをしてくれた、あのイエスさまです。

「わあーい！それじゃ、かみさまがわたしをだいて、いえまでおくってくれたのね！」

とうとうアガベは、イエスさまが、ずーっといっしょだったということに気がつきました。

「イエスさまにあった！イエスさまにあった！」

アガベとアレックスとミミは、およろこびでした。



かみはそのひとり子をわたしたちにおあたえくださったほどに、このよとすべてのものを愛してくださいました。それは、子なるイエスさまをかみとしんじる人が一人もほろびないでえいえんの命をいただくためです。

ヨハネ 3 : 16

さてその日をきっかけに、こねこたちのせいがかつがかわったのです。

今までいじょうに、ミミと二ひきはなかよしになりました。

イエスさまが、いつもそばにいてくれるのがわかりました。

それだけではありません。

このこねこたちは、イエスさまのことをまだ知らないほかのこねこたちに、

つたえはじめました。

**それは、すばらしいかみの国のはなしーふくいんです。**

「イエスさまが、この世にお生まれになり、わたしたちのつみ（アガベたちがした、いろいろなわるいことなど）のために、十字かにかかり、しんでから、三日目によみがえつたこと。イエスさまは、わたしたちのすくい主、いやし主、王の王、そしてまた、この地上にもどつてこられるかただということ」

「イエスさまは、わたしたちをととてもあいしてくださっていることなどです。」



イエスはかれらにちかづいてきて言われました。「わたしは、天においても地上においてもすべてのことをしはいるけんりを、かみからいただきました。あなたがたは行って、すべてのこくみんをでしとして、父と子とせいれいとのお名まえによって、このひとたちにバプテスマ（せんれい）をおこないなさい。そしてめいじておいたとおりに、すべておしえなさい。見なさい。わたしは、この世のおわりまで、いつもあなたたちといっしょにいるのです。

マタイ 28：18—20

さあ、神の子どもたち  
愛なる全能の神がくださった  
いつくしみととこしえに  
またそのきせきのわざに  
みんなでかんしゃをささげよう。  
イエスさまは、川を野にかえ  
またはんたいに、いずみを  
かわいた土地にかえることの  
できるお方です。(詩へん 107:31)

全能のお方のふしぎなみわざを、  
みんなでほめたたえましょう。

文とイラストレーション：

山本 真美子

ライフ神学大学卒業

フラワー神学大学院、世界宣教学部卒業

カリフォルニア州 パサデナ在住

